

健康社会研究センター ニュースレター 第 35 号

2014. 4. 1 発行

◆ 目次 ◆

- 1 センター長近藤克則のご挨拶
- 2 主な研究成果発表
- 3 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ

1 センター長近藤克則のごあいさつ

日本福祉大学健康社会研究センターの研究推進にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

さてセンター長である私、近藤克則は、2014 年 4 月 1 日から日本福祉大学客員教授と千葉大学予防医学センター教授を併任することになりました。今後も、引き続き日本福祉大学健康社会研究センター長として、well-being（幸福・健康）な社会の実現に寄与する研究を進めてまいりたいと考えています。

これに伴い JAGES（Japan Gerontological Evaluation Study, 日本老年学的評価研究）プロジェクトの推進体制も拡充されます。日本福祉大学健康社会研究センターに加え、東北大学、東京大学、浜松医科大学にも事務局機能の一部を分散配置したネットワーク型に発展させ、千葉大学予防医学センターが中核的な事務局機能を果たす形で、大きくなった JAGES プロジェクトのさらなる発展を目指していきたく思います。

今後も、日本福祉大学健康社会研究センターや JAGES プロジェクトの研究結果等を、ニュースレターやウェブサイトを通して情報発信していく予定です。なお 2014 年 4 月から JAGES プロジェクトのページも移設しました。新しい JAGES のページはコチラ → www.jages.net/

今後とも、本センターの研究推進にご理解・ご協力のほど、何とぞよろしくお願い申し上げます。

日本福祉大学健康社会研究センター長
千葉大学予防医学センター 環境健康学研究部門 教授
近藤克則

2 主な研究成果発表

<論文等>

- ① Yusuke Matsuyama, Jun Aida, Kenji Takeuchi, Georgios Tsakos, Richard G. Watt, Katsunori Kondo and Ken Osaka : Inequalities of dental prosthesis use under universal healthcare insurance, *Community Dentistry and Oral Epidemiology* 42(2) : 122-128, April 2014. Article first published online: 18 SEP 2013. DOI: 10.1111/cdoe.1207
- ② 永谷元基, 近藤克則 : Stroke unit を巡るエビデンス. *総合リハビリテーション* 42 (3) : 199-204, 2014. 3
- ③ 徳永誠, 近藤克則 : 脳卒中回復期における訓練時間と FIM 利得との関係—日本リハビリテーション・データベースの分析. *総合リハビリテーション* 42 (3) : 245-252, 2014. 3
- ④ 伊藤大介, 近藤克則, 伊藤美智予 : 介護者の認知症者に対する接し方の変化に関する研究—ケアマネジメントのプロセスとの関連. *社会福祉学* 54 (4) : 41-56, 2014. 3
- ⑤ 近藤克則 : 健康格差と健康の社会的決定要因の「見える化」. (特集) 健康格差とソーシャル・キャピタルの

「見える化」, 医療と社会 (印刷中)

- ⑥ 鈴木佳代: 見える化システム JAGES HEART を用いた介護予防における保険者支援. (特集) 健康格差とソーシャル・キャピタルの「見える化」, 医療と社会 (印刷中)

<学会等 (JAGES 関係) >

- ① 近藤克則: 社会経済的リスク要因. シンポジウム 1 「脳卒中の新しい危険因子」. 第 39 回日本脳卒中学会総会, 2014. 3. 13, 大阪

<その他>

- ① 近藤克則: 「健康格差社会を生き抜く」支援—MSW の役割. 第 56 回北海道医療ソーシャルワーク学会 教育講演 (2013. 4. 20-21, 札幌) 講演録, MSW ケーススタディ 34 : 4-16, 2014. 3
② 近藤克則: 日本福祉大学・延世大学 第 8 回日韓定期シンポジウムについて. 社会福祉開発研究 9 : 39-40, 2014. 3

<講演等>

- ① 近藤克則: 終末期ケアの質の評価とマネジメント. 日本福祉大学終末期ケア 2013 年度公開研究会「終末期ケアの評価を考える—質の高い看取りを目指して—」2014. 3. 1, 名古屋
② 近藤克則: まちづくりで健康づくり. まちづくり活動交流会 2013 年度医療福祉生協交流集会, 2014. 2. 26, 東京

3 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ

- ① 平成 26 年度日本看護協会 全国保健師交流集会
近藤克則: 広がる健康格差にどう向かうか〜いま期待される公衆衛生看護の力 (仮題)
【日程】2014 年 6 月 12 日 11 : 00~
【会場】名古屋マリオットアソシアホテル

- ・ JAGES 研究会今後の予定 ※変更になることがあります。
・ 4 月 20 日 (日) 東京大学本郷キャンパス
・ 5 月 17 日 (土) 名古屋 (状況により東京に変更)

ニューズレター第 35 号の発行にご協力いただきましてありがとうございました。

今後とも当センターへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

メーリングリストの配信の停止をご希望の方・ご意見・お問い合わせ・情報提供はこちら<k-michi*n-fukushi.ac.jp> (伊藤) >までお知らせください (ご連絡の際は*を@に変更して下さい)。

ニューズレターのバックナンバーはこちら<[バックナンバー](#)>

発行元: 健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

このメールは、国際シンポジウム「健康の社会的決定要因—社会疫学の可能性」(2009 年 3 月 14 日開催) 及び、「『健康の社会的決定要因』を巡る国際的動向」(2011 年 12 月 23 日開催), 国際ワークショップ「社会疫学と老年学における国際共同研究の可能性」(2012 年 1 月 8 日開催) にてメール登録をご希望いただいた方及びメーリングリスト web 登録をいただいた方に配信しています。